



2025年4月4日

各 位

会 社 名 アイビーシー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤 裕之
コ ー ド 番 号 3920 (東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 コーポレートサービス本部長 松本 一彦
(TEL. 03-5117-2780)

就労継続支援事業所への支援活動について

～NPO 法人 AlonAlon の新たなチャレンジとなる水稲育苗に IBC 社員が訪問参加～

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

アイビーシー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：加藤裕之、証券コード：3920）は、CSR 活動を企業の重要課題と捉え、SDGs が目指す持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるために、「世界を変えるための 17 の目標」への取り組みを進めています。

弊社は 2022 年より、就労継続支援 B 型事業所を運営する NPO 法人 AlonAlon（千葉県富津市）が行う事業を支援※しております。

今回は、2025 年 3 月 27 日（木）に社員有志 6 名で AlonAlon を訪問し、AlonAlon の新たなチャレンジとして始められた米の水稲育苗プロジェクト（富津市農業協同組合より令和 7 年産水稲育苗の業務を受託）において、出芽した苗を日光や気温に慣らす工程をお手伝いしてきました。

農作業は想像以上に大変でしたが、額に汗がにじみ、土の感触が指先に残るたびに、農業の繊細さと奥深さを実感し、苗を育てるという作業一つ一つに、細やかな気配りと愛情が必要なのだと肌で感じる事ができました。

AlonAlon で育苗された稲苗は、富津市内の稲作農家へ供給されます。このプロジェクトを通じて、障がい者の方々が地域農家との接点を持ち、農家の方々にとっても「自分達の仕事に必要な不可欠な人」として認識されることを目指しています。

地域コミュニティとの連携を高め、AlonAlon で働く障がい者の方々の仕事の選択肢を増やし、地域社会と共に成長する AlonAlon の新たなチャレンジに弊社社員が立ち会い、作業のお手伝いが出来たことを心から誇りに思います。

今回一緒に作業させていただいた AlonAlon で働く障がい者の方々から、作業終了後に「次はいつくるの？」
「また一緒に作業をしようね」等と温かな言葉をかけていただき、その言葉に、私たちはこの活動が単なる支援ではなく、互いを支え合う関係になっているのだと実感しました。

弊社は、今後もこうした活動を通して、社員一人ひとりが他者を思いやる優しさを育みながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※NPO 法人 AlonAlon への支援について

AlonAlon は、胡蝶蘭・マンゴー栽培や水稻育苗等の農福連携の新しいビジネスモデルで、知的・精神障がいの方たちに、生きがい・働き甲斐のある安定した仕事を創ることを目指しています。お世話するのではなく、障がいのある人々がスキルを身につけて成長し、やりがいを感じて仕事ができ、最終的には親亡きあとも自立できる力をつけてもらうことを目標としています。

弊社は、この AlonAlon の取り組みに賛同し、障がいを持った方々の一助になればと胡蝶蘭を贈る際には AlonAlon で購入をしております。

NPO 法人 AlonAlon Web サイト

<https://alonalon.or.jp/>





以上